

承 諾 書

ペッサリー外来でお取り扱いを開始する前の、重要事項に関する説明です。

ペッサリー外来の目的

- 子宮脱・膀胱瘤になっていて、しかも、いますぐ根治的な治療を受けることのできない女性の、子宮脱・膀胱瘤による不自由を軽減すること。

ペッサリー外来の業務の範囲

- 三井記念病院看護部のペッサリー外来は、ペッサリーフィッティング(サイズ合わせ)と、以下の指導を行います。
 - 器材の管理、使用状況の記録
 - 自己着脱管理の技能
 - 受診の必要な状況

お取り扱い前のチェック

- 初回のご来院に際し、ペッサリー外来へのお引き受けの前提となる適性を医師が検討します。
 - 通院の便
 - 意欲、理解力、記憶力
 - 局所の条件 膣の形や骨盤底筋の『張り』に関するものです

子宮摘除後の方については、膣の形に大きな個人差がありますので医師診察の上で適性を判定します。

適性を満たさない場合、ペッサリー外来でお取り扱いできません。

ペッサリーの使用により変わること

- ペッサリーでうまく管理できる場合、以下のような変化があります。
 - はみ出す子宮と裏返る膣が正しい位置に戻り、はさまる違和感やこすれる症状がなくなる
 - 下がった膀胱と尿道がサポートされ、排尿しづらさがとれる

高齢者を中心に、ペッサリーを使って尿もれのよくなる人や悪くなる人があります。尿もれへの影響は、使ってみないとわかりません。

ペッサリー外来の責任の範囲

- 以下の事態は、看護スタッフによるペッサリー外来の責任範囲をこえます。
 - 快適に安定的に使えるサイズが見つからない。→ ペッサリー管理の限界です。
 - 不正出血がある → 内性器疾患のおそれがあり、産婦人科受診が必要です。
 - ペッサリーを使用していて、尿もれや排尿困難がある → 産婦人科もしくは泌尿器科にご相談ください。

上記に該当するとき、もしくは、その他の条件により看護外来の責任範囲を超えると判断されるとき、担当スタッフから、ご自身による対応を求めます。その場合には、ご自身で必要な受診をなさってください。

お取り扱いの終了

- 以下のような場合は、指導に欠ける状態になりペッサリー外来の運営にも支障を来すため、当外来によるお取り扱いを終了させていただくことがあります。
 - 指示通り来院されない
 - 規則正しい着脱がなされない（全く使用しない、長期に嵌めっ放し、など）
 - フィッティング用に貸出したペッサリーの返却が滞る

上記の説明を受け、了解しました。

西暦 _____年 _____月 _____日

住所 _____

氏名 _____